

巨大なクリスマスツリーが登場



小屋名の小金田中学校北広場で11月22日、西部地区のシンボルツリーのイルミネーション点灯式が行われ、地元住民ら600人が集まって音楽演奏やダンスなどで点灯を祝いました。イルミネーション

は5年前から始められており、今年は約1万個のLED（発光ダイオード）が飾り付けられました。イルミネーションの点灯時間は日没から夜中の0時まで。1月7日（木）まで行われています。

あんな事、こんな事



これは カニ？ エビ？

11月20日、武儀東小学校4年生が海津市の大江小学校5年生と一緒に藤前干潟（名古屋市港区）を訪れ、生物調査や水質調査を行いました。干潟ではヤマリンが児童らを出迎えました。児童らはNPO法人藤前干潟を守る会の方から藤前干潟について説明を受けた後、干潟に移動して調査を開始。カニや巻き貝など、さまざまな生き物を確認しました。

高速道路ますます便利に

東海環状自動車道・富加関インターチェンジと関テクノハイランド工業団地を直結する一般県道・富加美濃線志津野バイパスの未改良であった1キロの区間が完成し、11月18日に開通式が行われました。開通式には地元住民や関係者など60人が出席。地元の富野保育園の園児による和太鼓演奏と、テープカットの後、開通を祝う車両パレードが行われました。





たすけてー!!

日吉ヶ丘保育園とあかつき幼稚園の園児らが11月12日、地震体験車による地震体験教室に参加しました。園児らは実際の地震の時と同じように、机の下に潜り込んで脚につかまり、激しい揺れを体験。車のモニター画面からは、揺れで家具などが倒れる映像と音声が流れ、臨場感あふれる地震の再現に泣き出す園児も。地震の怖さを身をもって知った一日でした。

永年の勤務をたたえて

11月23日、市内の商工業に従事する永年勤続優良従業員と、卓越技能者の表彰がアピセ・関で行われ、約100人が出席しました。受賞者を代表して、45年勤続の上橋行夫さん（鍋屋バイテック㈱）が「これまで大過なく努められたのも会社や仲間、そして家族の支えがあってこそ。これからも知恵と努力を惜しまず一層努めます」とお礼のあいさつをしました。



ポイ捨てはやめて

11月18日、市に代わって道路や河川などを管理する「関市公共施設アダプトプログラム」に基づき、関工業団地協同組合に加盟する15社30人の従業員が同団地の南を流れる迫間川の清掃活動を行いました。参加者はゴム手袋や長靴を身につけ、草に隠れた空き缶などをひとつずつ拾って川をきれいにしました。回収されたゴミは可燃70キ口、不燃50キ口にもなりました。

お父さんたちには負けないよ

安桜小学校で11月15日、同校PTAふれあい委員会の主催で三世代交流会「秋のふれあいスポーツ大会」が開催され、同校児童とその家族、関市老人クラブ連合会のお年寄りなど約100人がグラウンドゴルフとカローリングを楽しみました。参加者は、1打1投ごとに歓喜を上げたりため息をついたりしながら競技を楽しみ、会場は世代を越えた笑顔であふれていました。



こぼれ話



11月18日に県道富加美濃線志津野バイパスが開通しました。新しいトンネルや道路が整備され、地域経済の発展や地域間交流など、さまざまな効果が期待される一方で10月の下旬、私の子どもが通う小学校で、下校中の児童が自動車にひかれてしまう、大変悲しい交通事故が起こってしまいました。押しボタン信号機が設置されている横断歩道でなぜこんな事故が起きてしまったのでしょうか…たしか20年以上

前だとは思いますが、同じところで小学生の児童が下校中に自動車にひかれて亡くなっていると記憶しています。

現在、学校の先生方や保護者のみなさん、そして地元の方々たちは、これ以上このような事故が起こらないよう、見守りボランティアや現場周辺の環境改善に関する関係機関への要望など、自分たちにできることを一生懸命考えて取り組んでいます。

私も自動車を運転する者の1人として、今まで以上に交通安全に気をつけていきたいと思っています。